

令和7年度第1回釜石市文化財保護審議会の開催結果について

令和7年度第1回釜石市文化財保護審議会を開催したので、次のとおり報告する。

- 1 開催日時 令和7年6月24日（火）13時30分～15時00分
- 2 開催場所 しごと・くらしサポートセンター 会議室 イオンタウン釜石2階
- 3 委員出席状況

委員10名中10名が出席した。

 - 1) 出席委員 藤原信孝会長、瀬戸元副会長、河東直江委員、鱒沢トモ子委員、千葉愛子委員、藤井サエ子委員、千葉まき子委員、藤井静子委員、佐々木光壽委員、市川淳子委員
 - 2) 欠席委員 なし
- 4 事務局出席者

高橋勝教育長、川崎浩二部長、森一欽世界遺産室長、手塚新太課長補佐兼文化財係長、齋藤香織主査、加藤幹樹主査
- 5 傍聴者 なし
- 6 経過

藤原会長によって議事進行が行われた。

 - 1) 報告1「令和6年度文化財保護と活用事業の実施状況について」

<協議内容・経過>

事務局から「令和6年度文化財保護と活用事業の実施状況について」を資料に基づき報告し、意見を求めた。

<結果> 特に質問はなく、了承を得た。
 - 2) 議事1「令和7年度文化財保護と活用事業の計画について」

<協議内容・経過>

事務局から、「令和7年度文化財保護と活用事業の実施計画について」を資料に基づいて説明し、意見を求めた。

 - ・市川委員 鉱山（やま）の宝さがしが(株)かまいし DMC が実施するとのことで民間との連携できることは理想的だと感じた。
 - ・事務局 文化財サイドとしては、(株)かまいし DMC やガイド会との連携が図れればと考えている。そのほかにも個人を紹介できるマッチングができればよいと考える。鉱山だけではなく市には多くのお宝が眠っている

ので、それらをどのように活用するか、一般はもとより市内にも広める必要がある。インバウンドについても三陸国際芸術祭の一連の事業として商工観光課と協力し、釜石まつりに台湾からの観光客を呼び込む仕組みづくりを検討している。観光推進だけではないが釜石の歴史文化を活用できる仕組みづくりができればよいと考えている。

- ・市川委員 みんなで伝える郷土芸能体験事業があるが、郷土芸能を子どもたちにとってどう繋げるかが重要と考えている。
- ・市川委員 夏休みの課題図書に「まさきの虎」という本が上がっている。作者は震災と伝統芸能が震災復興に与えた理由を探るため虎舞等を取材した。釜石市内の子どもたちの手に取れるようにしてもらいたい。
- ・市川委員 文化財に関する色々なイベントがあるが、スケジュール一覧があると良い。
- ・事務局 文化財に関するスケジュールを見える化することが必要であるので検討したい。
- ・千葉まき子委員 屋形遺跡の調査とあるが、一般公開を実施する予定はあるか。
- ・事務局 今年度実施予定は範囲が狭いことから、今後調査を進めながら、見学できる機会を検討したい。
- ・千葉まき子委員 新しく指定となった「新道峠（通称：清水峠）の庚申塔」を見学したが、一般の人を募集して見に行くことはできないか。また、市で企画して毎年浜街道などを見学する催しはできないか。
- ・事務局 唐丹地区生活応援センターの依頼で「新道峠（通称：清水峠）の庚申塔」を見学する予定である。浜街道を見学することについては、今後検討したい。
- ・市川委員 有形文化財展で使用していた釜石の新しい鳥瞰図が人気であった。欲しい人もいたようなので、販売等はできないものか。
- ・事務局 新しい鳥瞰図は商工観光課で管理している。鳥瞰図の販売を打診したところ民間業者で販売していただければとの意向であった。
- ・市川委員 新庁舎建設が進んでいるが、文化財等を紹介できるスペースを設けることはできないものか。
- ・事務局 新庁舎に文化財等を紹介できるスペースの設置を担当部局に打診はしたがそれだけでは難しいとのこと。釜石市を紹介することは検討しているとのことであった。
- ・藤原会長 かまいし歴史文化プロモーションを通じた関係人口創出事業とあるが、補助金があるのか。
- ・事務局 新しい地方経済・生活環境創生交付金（通称：第2世代交付金）の対象となる。

<結果> 質疑応答のうえ、了承を得た。

3) 議事2「第27回郷土芸能祭の開催内容について」

<協議内容・経過>

事務局から、「第27回郷土芸能祭の開催内容について」を資料に基づいて説明し、意見を求めた。

- ・事務局 郷土芸能団体に出演意向を確認した結果、次の11団体から出演の意向が示された。
【釜石地区】東前太神楽、尾崎町虎舞、錦町虎舞、只越虎舞、平田神楽
【甲子地区】松倉虎舞、松倉太神楽、田郷鹿子踊、外山鹿踊
【栗橋地区】砂子畑鹿踊
【唐丹地区】桜舞太鼓
- ・市川委員 以前は郷土芸能祭のオープニングで、幼稚園やこども園の虎舞が披露されていた。子どもたち大披露目の場として今回お願いすることはできないか。
- ・事務局 幼稚園やこども園、小・中学校でも郷土芸能を練習しており、毎回依頼しているものの、最近はタイミングが合わず披露されていない。可能であれば依頼したい。
- ・藤原会長 今後は、第2専門部会を中心に出演団体等を検討していくこととなる。

<結果> 質疑応答のうえ、了承を得た。

4) 協議3「釜石市指定文化財推進物件について」

<協議内容・経過>

事務局から「釜石市指定文化財推進物件について」を資料に基づいて説明し、意見を求めた。

- ・事務局 今回新たにリストに追加したのは常龍山碑と（仮）新規発見の和山のシナノキとなる。以前から継続している候補物件については、松倉太神楽と松倉虎舞の調書はほぼ完成に近い。御箱崎の千畳敷の調書はほぼ完成に近いが、国の登録記念物の方向性を模索している。新規に掲載した常龍山の碑については、所有者の河東委員の説明をお聞きしたい。
- ・河東委員 常龍山の碑について概要を説明する（資料に基づき説明した）。
- ・藤原会長 常龍山の碑の調書はこれから作成することで良いか。
- ・事務局 調書はこれから作成することとなる。常龍山の碑は葛西昌丕に関する文化財であり、星座石など葛西昌丕関連の指定文化財が多くなってきている。唐丹に集中するが、一度文化財パトロールで実見したいと考えている。担当委員は所有者の河東委員にお願いしたい。
- ・藤原会長 今年度の指定については、調書がほぼ完成している松倉虎舞と松倉太神楽を優先する。第二専門部会の方々に進めていただきたい。

<結果> 質疑応答のうえ、了承を得た。

5) 議事4「その他」

○世界遺産登録10周年に関する事業について

事務局から世界遺産登録10周年に関する事業として「明治日本の産業革命遺産 橋野鉄鉱山世界遺産登録10周年記念シンポジウム」、「橋野鉄鉱山マルシェ」、「鐵のふるさとスタンプラリー」等を開催する旨を説明した。

○戦後80年に関する事業について

事務局から「戦後80年 釜石と戦災～未来に伝えるために～」の実施について説明を行った。

○岩手県指定記念講演会について

事務局から三浦命助関係資料が4月11日に岩手県指定となったことを受け、記念講演会を実施する旨を説明した。

○釜石市文化財保存活用地域計画について

事務局から釜石市文化財保存活用地域計画に係る冊子を3種類印刷した旨を説明した。

○文化財パトロールについて

事務局から常龍山の碑を見学する旨を説明した。

7 その他

- ・市川委員 文化財保護審議委員が1人抜けて10人となったが、次の委員は決まっているのか。
- ・事務局 文化財保護審議委員会は15人以内で構成する決まりとなっている。定数は決まっていないため問題はないが、次の委員については検討したい。

以上